



あいづばんげ 議会だより

203号

令和3年10月25日発行
福島県会津坂下町議会

坂下厚生総合病院

昭和33年開院から63年
ありがとう！

令和3年11月4日開院

これからも地域医療の要として
よろしくお願いします！

坂下厚生総合病院

令和2年度 決算認定

第3回定例会（9月議会）目次

- 令和2年度決算審査 2～5P
- 第3回定例会（9月議会） 6～9P
- 8人の議員による一般質問 10～14P
- みんなのひろば・編集後記 16P

令和2年度 決算を認定

令和3年
第3回
定例会

歳入 令和元年度より 20億2,402万2,872円増

	令和2年度	令和元年度
予算現額	95億9,810万1,000円	75億2,150万4,000円
調定額	97億3,444万8,374円	75億7,294万1,909円
収入済額	94億1,879万2,894円	73億9,477万22円
不能欠損額	392万9,977円	472万8,032円
収入未済額	3億1,172万5,503円	1億7,344万3,855円

【主な増減】

- 国庫支出金 24億8,247万3,564円（令和元年度比19億6,843万1,179円増）
特別定額給付金給付事業補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などによる。
- 県支出金 6億8,192万7,047円（令和元年度比4,706万6,658円増）
ふくしま森林再生事業補助金の増額などによる。
- 寄付金 5,091万3,457円（令和元年度比1,333万529円増）
ふるさと納税の増加などによる。

歳出 令和元年度より 18億5,117万1,931円増

	令和2年度	令和元年度
予算現額	95億9,810万1,000円	75億2,150万4,000円
支出済額	89億6,359万8,313円	71億1,242万6,382円
翌年度繰越額	3億1,867万円	1億3,024万4,000円
不用額	3億1,583万2,678円	2億7,883万3,618円

【主な増減】

- 総務費 31億2,949万2,550円（令和元年度比18億5,827万601円増）
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる。
- 農林水産業費 4億2,878万868円（令和元年度比65万5,272円減）
多面的機能支払交付金過年度分返還金の減などによる。
- 教育費 8億5,896万2,253円（248万6,023円減）
小中学校空調設備設置工事完了による減、GIGAスクールの取り組みによる小中学校のネットワーク環境整備の増などによる。

決算認定のあらまし

令和3年9月9日(木)～10日(金)に議員13名(議会選出監査委員の酒井育子議員を除く)で構成される「決算特別委員会」を開催し、特別会計を含む8会計について審査を行いました。付託された8会計について、全て適正に執行されたと認定しました。

決算審査意見書概要



監査委員代表
酒井 仙波

令和2年度普通会計決算の特徴は、歳入歳出で新型コロナウイルス感染症対策関連予算措置により大幅な増額となりました。

主な財政分析でも、経常収支比率は会計年度任用職員制度の施行により、人件費が増加したものの、地方税や普通交付税などの増、新型コロナウイルス感染症対策に係る支出や緊急事態宣言下で経常経費が抑制されたことにより前年比3・9%減の85・6%となりました。

これからも財政健全化への取り組みの歩みを止めることなく、更に全庁的に気を引き締めていく必要があります。また、事業選択において、単年度費用にこだわらず、ランニングコストを十分に配慮・検討を望みます。

これまで実施されてきた行財政改革プランに基づく目標進捗状況は、一部達成済みもあり改善に向けて進んでいるものの、特に今年度の決算内容は、特殊要因である新型コロナウイルス感染症対策関連予算が含まれており、必ずしも努力のみのものと楽観視できるものではありません。また、当町の近々の財政負担増の要因である、坂下厚生総合病院の新築移転に伴う支援

負担金や、会津若松地方広域市町村圏整備組合の施設改修・拡充負担金増など、財政負担が重くのしかかる要因も抱え、安心できない状況にあります。引き続き財政再建に向けたあらゆる施策・手法を慎重かつ大胆に見極めていく必要があります。

最後に、昨今の国内外における想定外の気象状況により自然災害や環境の変化もあることから、目標値が必ずしも財政改革目標値に結びつくものではなく、短期的に問題解決が望めるものではないと理解します。しかしながら、長く期間を必要とする財政改革については、財政が厳しくとも行政運営に対する町民満足度の向上と財政再建の両立が不可決であると考えます。町民に不安を与えない行政運営を希望します。

決算審査意見書提出

8月11日

仙波代表監査委員、酒井監査委員から、令和2年度決算審査意見書を提出しました。

(決算審査期間)

7月12日～7月26日



委員会審議内容



副委員長 赤城大地議員

副委員長として、委員会運営の補佐を務めました。委員全員より質疑があり、活発な議論および慎重な審議がなされたと考えます。また、委員各位より指摘のあった事項について、今後の予算編成においてどのように反映されるのか注視してまいります。

歳入総額

令和2年度
一般会計決算額

94 億 1,879 万 2,894 円

歳出総額

89 億 6,359 万 8,313 円

主な質疑 Q A

Q 1：固定資産税の滞納額がここ数年増えている要因は？	A 1：相続がうまくいかないことに加え空き家件数の増加によるものが主な要因です。
Q 2：ふるさと納税が前年より増加した理由は？	A 2：果樹（もも・柿・りんご）を中心に季節ごとの産品を増やしたことが大きな要因です。
Q 3：マイナンバーカード取得の進捗状況は？	A 3：令和3年8月末時点で25.6%（会津坂下町の交付率）町役場1階税務管理班脇に申請サポート窓口を開設し申請手続きのお手伝いを行っています。
Q 4：一人暮らし世帯のゴミ回収は非課税世帯のみが対象なのか？	A 4：非課税世帯の1人暮らし高齢者を対象としています。
Q 5：農村環境改善センターは宿泊も考えて造られたが、その利用状況は？	A 5：宿泊利用を前提とした建物ではありませんが、時間で貸し出しを行っており、翌日まで利用される場合もあります。令和2年度の利用件数につきましては、274件、2,111名の方の利用がありました。
Q 6：鳥獣駆除実施隊の任務は大変。出動手当は十分なのか？	A 6：18名の実施隊でわなの設置や見回りなど行っています。銃使用の場合1回あたり4,000円、銃未使用の場合1回あたり2,000円出動手当を支給しています。今後相談しながら検討していきます。
Q 7：道路修繕の現状は？	A 7：週3回パトロールし、その都度修繕しています。
Q 8：中央公園の今後の整備は？	A 8：立木は全部伐採し、道路側の植栽も見直し良くします。
Q 9：地下消火栓はどこにあるか分かりづらいと思うが…？	A 9：できるだけ地上で目に見える消火栓設置の方向で考えます。
Q 10：学校給食における地元食材の自給率は？	A 10：約30%です。できるだけ地元食材を使用した献立を考え、提供するよう努めています。

決算特別委員

令和2年度の各会計歳入歳出決算について、議会選出監査委員を除く13名で構成された決算特別委員会を設置し、議会が決定した予算が適正に執行されたか審議しました。限られた時間の中で委員より多くの発言があり、執行部の答弁も丁寧だったと感じます。



委員長 渡部順子議員

令和2年度特別会計決算額

会計	歳入	歳出	差引	
国民健康保険特別会計	18億3,909万479円	17億6,203万2,251円	7,705万8,228円	
介護保険特別会計	22億9,679万8,532円	21億8,870万7,403円	1億809万1,129円	
後期高齢者医療特別会計	1億9,163万5,745円	1億9,163万4,090円	1,655円	
下水道事業特別会計	5億3,797万1,119円	5億3,797万1,119円	0円	
坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	2億9,086万1,048円	2億9,086万1,048円	0円	
農業集落排水事業特別会計	6,827万5,009円	6,827万5,009円	0円	
企業会計	収入(税込)	支出(税込)	差引(税込)	
水道事業会計	収益的収支	5億3,134万8,833円	4億7,738万8,946円	5,395万9,887円
	資本的収支	2,450万8,700円	1億6,220万9,857円	▲1億3,770万1,157円

討論 決算について私はこう考える

<p>賛成 蓮沼文明議員</p> <p>歳入での町税及びふるさと納税等の増加、歳出での各部署における必要事業の見極めと的確な事業執行の結果、年度末の実質収支は3億7,082万円となり、高く評価します。確実に町の財政健全化を進め、一層の努力と創意工夫を要望し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定に賛成の討論とします。</p>	<p>賛成 山口 享議員</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関しても、最大限活用した「会津坂下町生活支援事業」により、あらゆる必要な事業をバランスよく選択され、迅速かつ的確に執行されたと考えます。今後とも適切な予算執行に努められ、町民が「やっぱり“ばんげ”がいい」と思えるよう、日々努力されることを期待し賛成します。</p>	<p>賛成 渡部正司議員</p> <p>感染症に戸惑う町民に対し、臨時交付金による様々な生活支援事業がなされました。感染防止対策、学生や農商工業者支援、「新しい生活様式」の環境整備など、赤ちゃんから高齢者まで、財政健全化計画を背負っての考える執行を評価します。</p>
<p>賛成 小畑博司議員</p> <p>昨年度の1年間は「コロナ禍」とのたたかひでしたが、農工商に携わる方々へのきめ細かな支援や、コロナの影響が集中した方々への心遣いなど、しっかり対応できた一年だったと思います。これからも一人も取り残さない対応を期待し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定に賛成の討論とします。</p>	<p>反対 佐藤宗太議員</p> <p>重大な事務ミスがあり、後任が還付申請するまで平成27年度から令和元年度までの5年間にわたり損害を与え続けました。その後の対応も不十分であると言わざるを得ず、議会チェック機能を果たすべく、下水道事業及び農業集落排水事業特別会計決算認定に反対します。</p>	<p>反対 五十嵐一夫議員</p> <p>平成27年度消費税改定による税率適用相違により、消費税の過誤納付還付金がありました。平成26年度以前の還付金は時効により還付請求不可、監査報告書において会計管理上重大な事務ミスと指摘があり、認定は議会の見識が問われます。本会計を認定しては不名誉な決算審査となるため、下水道事業及び農業集落排水事業特別会計決算認定に反対します。</p>